

副助詞 ⇨ 放在格助詞的後面，用於附加某種語氣

常見的副助詞： は・も・でも・さえ・すら・まで・しか・・・・

は ⇨ 把參與動詞的某個名詞提出，並將其移到句子最前面，當作話題加以討論、說明、比較或否定。如果提出的名詞是「が」格或「を」格時，格助詞「が」「を」可以省略。

私が 酒を 飲みました。 ⇨ 我喝了酒。(一般的敘述)

→移到句子前面提出來說明

酒~~を~~は 私が 飲みました。 ⇨ 酒_〇 我喝了。(說明「酒」怎麼了)

私~~が~~は 酒を 飲みました。 ⇨ 我_〇 喝酒了。(說明「我」怎麼了)

↓

本來就在句子前面，所以不必移動

被用「は」提出，放在句子最前面當做話題討論、說明、否定的名詞的各種「格」當中，只有「が・を」格可以省略，其他的格，如：「に・で・へ・から」等都不會省略。

定點 主体
↑ ↑
ここに 本が あります。 ⇨ (這裡有書)(一般敘述)

→移至句子最前面當話題說明、討論

本~~が~~は ここに ありません。 ⇨ (書_〇不在這裡)(把「書」否定)

↓
「が」省略

ここには 本~~が~~は ありません。 ⇨ (這裡_〇書、沒有)

↓ ↓
「に」不能省略 「が」省略

★一句話可以用兩個「は」來將兩個名詞格提出說明

動作主体 動作場所 動作受詞

父[↑]が 家[↑]で 酒[↑]を 飲みます。 ⇨ 父親在家喝酒。 (平述)

父~~が~~は 家で 酒を 飲みます。 ⇨ 父親喔、要在家喝酒。 (説明)
↓ 「が」省略 (説明「父親」要在家做什麼)

家では 父[↑]が 酒を 飲みます。 ⇨ 在家喔、父親要喝酒。 (説明)
↓ 「で」不會省略 (説明「在家裡」怎麼了)

酒~~を~~は 父[↑]が 家[↑]で 飲みます。 ⇨ 酒喔、父親要在家喝。 (説明)
↓ 「を」省略 (説明「酒」要怎麼處理)

私[↑]が 飲みます。 ➡ 我、喝。

➡ 雖然都是「は」但名詞與動詞間的內在邏輯不同

酒[↑]を 飲みます。 ➡ 酒、喝。

副助詞，用於付加各種語氣

後有副助詞省略 ← が	は	(説明)
後有副助詞省略 ← を	も	(付加・並列)
	しか	(限定) → 後接否定形
	だけ	(限定)
名詞 + で +	こそ	(強調)
	さえ	(舉出極端事例)
	すら	(舉出極端事例)
	から	まで (極端限度)
	より	でも (例示・極端事例)
	ばかり	(限定)

動詞

格助詞，用於表示名詞與動詞之間的語意邏輯關係

比較不同副助詞的各種語氣：

水を 飲みました。 ⇨ 喝了水 (平述)

⇒ 插入各種不同語氣的副助詞

は	飲みました。	⇨ 水啊、喝了 (説明)
も	飲みました。	⇨ 水、也喝了 (～也)
水 を しか	飲みませんでした。	⇨ 只喝了水 (只～)
ばかり	飲みました。	⇨ 光喝水 (光～)
さえ	飲みませんでした。	⇨ 連水都沒喝 (連～)

↓
格助詞後面加上各種不同語氣的副助詞

接續助詞 ➡ 接在動詞的語尾，以連接下個動作。



↓
單句

+

て、 (然後)
と、 (一～就～)
ば、 (如果～)
たら、 (～的話)
なら、 (若～)
たり、 (又～又～)
から、 (因為～)
ので、 (因為～)
のに、 (卻～)

↓
用於連貫兩個動作



↓
單句

終助詞 ➡ 接在句子的最後，表示疑問、感嘆。



↓
單句

+

て、
と、
ば、
たら、
なら、
たり、
から、
ので、
のに、
↓
接續助詞



↓
單句

か。
ね。
よ。
わ。
ぞ。
の。
さ。
な。
↓
終助詞

結論

日本的句子結構如下：

